

平成31年度(令和元年度)の重点目標

■今年度の最重要項目

「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」、官民一体型学校
「武雄花まる学園」を活用した地域の学校づくり ～定着へ～

1 武雄小学校の教育目標

自ら考え、正しく判断できる、人間性豊かな児童の育成

2 めざす学校像

～信頼される学校～

- (1) 知的な学校・・・知的好奇心の育成
- (2) 居心地のいい学校・・・自己肯定感の育成
- (3) 元気な学校・・・挑戦心の育成

3 めざす教師像

～専門職としての自覚と「原点」を意識する教師～

※ここで言う「原点」は『物事を考えるときの出発点』

4 めざすこども像

～未来に希望を抱くこども～

- 【知】確かな学力の向上 → やる気いっぱい、進んで学ぶ子
- 【徳】豊かな心の育成 → 笑顔いっぱい、やさしい子
- 【体】たくましい体の育成 → 元気いっぱい、たくましい子

5 家庭・地域との連携

～ふるさとを愛するこども～

- (1) 官民一体型学校「武雄花まる学園」武雄小学校の定着
- (2) 「コミュニティ・スクール」の推進
- (3) 地域人材の活用
- (4) 家庭学習の習慣づくり
- (5) 基本的な生活習慣づくり

「やさしく やさしく みんな にこにこ たけおっ子」

平成31年度(令和元年度) 学校経営の柱

I 具現化の柱

- 教師としての「原点」 児童・保護者・地域への説明の根拠
- 社会人としての「原点」 地元地域住民として
- 私人としての「原点」 家庭が基盤

II 具現化の手立て ～ P(計画:5月) D(実践:6・7月) C(検証:8月) A(改善:9月)

■ 新しい価値の創出

※新たに業務を増やすのではなく、これまでの業務の価値を再認識すること

- 1 焦点化した職員研修 特別支援教育の視点からのアプローチ
- 2 企画する会議 組織としての企画力
- 3 価値を意識した行事 教育的価値の明確化

■ 教職員としての姿勢

- 1 授業づくりの姿勢 授業で鍛える
- 2 学校づくりの姿勢 居場所・安心感のある学校づくり
- 3 地域・保護者の姿勢 同一目線での子育て
- 4 分掌事務の姿勢 ICT利活用による事務の効率化、業務改善
- 5 服務規律遵守の姿勢 全職員が学校経営者という意識

■ 共に育てる学校

- 1 家庭と連携した生活習慣・学習習慣の指導
- 2 「花まる学園」開校を契機とした地域との連携強化
- 3 「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」による学校づくり
- 4 武雄中学校区での課題共有

III 具現化の重点目標

■ 居心地のいい学校 【自己肯定感の育成】

- 1 「花まるタイム」「青空教室」の活用
- 2 家庭・地域・関係機関と連携した児童の心の安定
- 3 全職員で育てるという意識での指導体制

■ 知的な学校 【知的好奇心の育成】

- 1 「？」(はてな)から「！」(なるほど)に変わる授業
- 2 「なぞペー」の活用
- 3 家庭学習の充実と定着(「家庭学習の手引き」と「スマイル学習」)
- 4 教材の効果を最大限に引き出す指導

■ 元気な学校 【挑戦心の育成】

- 1 地域・保護者と連携した行事の活性化
- 2 達成見込みと適度な困難を含んだ具体的目標の設定
- 3 多くの賞賛による挑戦心の喚起

「やさしく やさしく みんな にこにこ たけおっ子」